



## 統計の面白さとその伝え方 ～興味を持ってもらえるために～

林 篤裕

(九州大学 基幹教育院  
& アドミッションセンター)



e-mail: hayashi@artsci.kyushu-u.ac.jp

1

## 本講演の趣旨

平成20年(小学校・中学校)と平成21年(高等学校)に告示された新学習指導要領では、算数・数学領域に統計的な見方や考え方に基づいた単元が取り入れられました。これらは単に公式を覚えて数値を算出するという知識暗記型の教育ではなく、データに基づいた問題解決力の育成が期待されています。言うまでもなく統計的なものの考え方は、社会を生き抜いていくために有用なスキルですので、修得することは今後の充実した生活に有効であると思います。

そのためにはまず統計に興味を持ってもらい、面白いと感じてもらうことが第一歩ではないかと考えます。では、どのようにすれば統計に興味を持ってもらえるのでしょうか。そしてそれらはどのように伝えれば良いのでしょうか。

本講演では、これまであまりデータを取り扱ったことがない方を対象に、統計の面白さの一端を知っていただき、授業の中で使っただけのようなアイデアやヒントを、身近な実例を示しながら紹介したいと思います。

2

## 講演内容

- ◆ なぜ今、統計?
- ◆ 新学習指導要領(H20,H21告示)
- ◆ 統計を取る意味
- ◆ 日頃見かける例から
- ◆ 活きているデータを使おう
- ◆ 授業で用いるデータの生成例
- ◆ 統計を学習する際の考慮点
- ◆ 実データを分析する楽しさ
- ◆ 参考になる文献／サイト
- ◆ まとめ

3

## 当日の提示資料について

- ◆ 講演時に提示した資料は枚数も多いため、資源節約の観点から印刷したものを会場で配布することは控え、当日の提示資料を以下URLに掲載しておくことにしました。
- ◆ お手数ですが、必要に応じてアクセスしていただき、提示資料をダウンロード後必要部分を印刷する等してお使いいただければと思います。なお、提示資料中のURLはいちいち手入力せずとも直接ジャンプできるようにリンク集も用意しておきましたのでご活用ください。

<http://artsci.kyushu-u.ac.jp/~hayashi/hai fu/#0ita1308>

【注:すべて半角文字です】

4